

平成27年度広島県合同輸血療法委員会

平成26年度事業実施報告

H26.7.26	広島県合同輸血療法委員会の開催 ○H26年度活動計画について ○特別講演:二木敏彦先生(金沢赤十字病院 検査部) ～輸血医療の均てん化にチャレンジ 小規模医療施設における輸血医療の特徴とその支援～
H27.1.31	広島県合同輸血療法研修会の開催 ○H26年度アンケート調査結果 ○ワークショップ「どうするんだ!?輸血前後の感染症検査」 ○特別講演:西塚和美先生(青森県黒石市国民健康保険 黒石病院) ～看護師として実践する Patient Blood Management～

広島県合同輸血療法委員会の目的

広島県合同輸血療法委員会設置要綱(H23.5.25設置)

(目的)

第1条 本会は、医療機関における輸血療法委員会相互の情報交換を図り、広島県内における輸血医療の標準化をめざすものとする。

平成26年度に実施した活動・事業

- 広島県合同輸血療法委員会 H26.7.26
- 広島県合同輸血療法研修会 H27.1.31
- 輸血療法に関するアンケート調査の実施 H26.11
- 医療機関からの相談応需事業
(実地相談)の実施 H26.6～H27.2
- 広島県合同輸血療法委員会幹事会(2回)
① H26.4.26 ② H26.12.13

委員会・研修会の開催状況

H23.5.25	広島県合同輸血療法委員会の設置 (医療機関16、学識経験者3、関係団体5、事務局3)
H24.7.28	広島県合同輸血療法委員会の開催 ○H24年度活動計画について ○特別講演:紀野修一先生(旭川医科大学付属病院准教授) ～旭川医科大学病院における輸血療法委員会活動～
H25.2.2	広島県合同輸血療法研修会の開催 ○H24年度アンケート調査結果○医療機関の事例発表 ○特別講演:稲田英一先生(順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座教授) ～「危機的出血への対応ガイドライン」を生かすために～
H25.7.27	広島県合同輸血療法委員会の開催 ○H25年度活動計画について ○特別講演:田中純子先生(広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授) ～輸血用血液の安全性向上への変遷～
H26.2.15	広島県合同輸血療法研修会の開催 ○H25年度アンケート調査結果○医療機関の事例発表 ○特別講演:大戸 育先生(福島県立医科大学 輸血・移植免疫学教授) ～全医療人へ達成する良質な輸血医療～

広島県合同輸血療法委員会

- 日時 平成26年7月26日(土) 15時～17時
- 場所 国保会館(広島市中区東白島町)
- 内容
 - 平成25年度の実績報告
 - 平成26年度活動計画について
 - 特別講演
演題「輸血医療の均てん化にチャレンジ
小規模医療施設における輸血医療の特徴とその支援」
講師:二木敏彦先生(金沢赤十字病院 検査部)

広島県合同輸血療法研修会

- 日時 平成27年1月31日(土) 15時～18時
- 場所 県庁本館 6階 講堂
- 内容
 - 輸血療法に関するアンケート結果報告
 - 広島大学病院 輸血部長 藤井輝久先生
 - ワークショップ「どうするんだ!? 輸血前後の感染症検査」
 - 広島県赤十字血液センター、広島赤十字・原爆病院、市立三次中央病院、荒木脳神経外科病院
 - 特別講演
 「看護師として実践するPatient Blood Management」
 - 講師：青森県黒石市国民健康保険 黒石病院 西塚和美先生

医療機関からの 相談応需事業(実地相談)の実施 2

3 実施医療機関

- (1) 平成27年 2月20日 病院A
- (2) 平成27年 2月24日 病院B

4 実施者

広島県合同輸血療法委員会の委員(医師及び検査技師)
事務局(赤十字血液センター職員及び業務課職員)

計 3名又は4名

輸血療法に関する実態調査の実施

- **調査の目的**：広島県の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握すること。
 - **実施主体**：広島県合同輸血療法委員会
 - **調査期間**：平成26年10月27日～11月28日
 - **調査対象**：平成24年度に広島県輸血用血液製剤供給量の上位100位以内の医療機関及び以前の調査で対象であった医療機関等全138医療機関
 - **調査方法**：郵送によるアンケート調査(記名調査)
 - **調査項目(抜粋)**：
 - 「医療機関の概要」(病床数及び診療科数等)
 - 「輸血療法委員会について」
 - 「現時点での輸血管理体制について」
- などの8分野・32項目
- **回答数/回収率**：100施設/72.5%

医療機関からの 相談応需事業(実地相談)の実施 3

5 実施結果の概要(主な相談内容及び助言内容)

- ・血液製剤の保管機器の設定を適切に
- ・自己血採取後は、採血現場でチューブシールを行う
- ・対象事例がなく作成していないマニュアル及び管理簿を整備
- ・輸血療法委員会の設置
- ・輸血療法マニュアルの整備
- ・輸血前後の感染症検査の実施
- ・副作用の報告体制の構築
- ・検査方法の再検討
- ・輸血前後の感染症検査の実施率向上の検討 等

医療機関からの 相談応需事業(実地相談)の実施 1

1 目的

県内の医療機関において、血液製剤の適正使用について、指針への適合を模索している機関に対し、助言及び実地相談を行い、県全体の輸血療法の標準化を図ることを目的として実施した。

2 内容

各医療機関が、血液製剤をどのように使用しているか、実際に医療機関を訪問して確認し、医療機関からの相談に応需するものである。医療機関からの支援要望に対して、施設規模にかかわらず輸血医療の底上げを図るもので、「出前研修とコンサルティング」をイメージしている。

日本輸血・細胞治療学会のI&Aマニュアルを参考に委員会が独自のチェックリストを作成し、医療機関及び訪問者の相互で確認しながら実施した。

広島県合同輸血療法委員会幹事会

開催回	年月日	概 要
第1回 (赤十字血液センター)	H26.4.26 (土)	1 平成25年度の報告 2 平成26年度広島県合同輸血療法委員会の開催について 3 平成26年度のアンケート実施について 4 平成26年度委託事業への応募について 5 訪問相談事業チェックリスト(小規模機関向け)について 6 研修会の講師について
第2回 (赤十字血液センター)	H26.12.13 (土)	1 平成26年度広島県合同輸血療法委員会研修会の開催について 2 平成26年度のアンケートの実施 ～平成26年度の報告と継続実施の確認～ 3 訪問相談事業(小規模機関向け)について

今後の課題・取組み

県合同輸血療法委員会が、医療機関～血液センター～行政間における情報の共有と情報交換の場(軸)として活動を行い、輸血医療の標準化を進展させることを目指して活動を継続する。

- 合同輸血療法委員会及び研修会の開催の継続
- 輸血前後の検査実施手順書の作成
- 県内医療機関への輸血療法に関する調査の継続
- 県内医療機関のレベルアップのための相談応需事業の継続
- 輸血医療の変遷に対応した活動・調査